

会計室決算の概要

1 決算総括

平成 26 年度は、平成 28 年度からの次期指定金融機関の指定に向け、公募を行い、指定金融機関選定委員会において、公平公正かつ慎重な選定を実施した。また、平成 27 年度からの物品センター耐震改修工事に向け、実施設計を行った。会計事務においては、公金の安全確実かつ有利な管理運用を行うとともに、適正な執行の確保と効率化に努めた。

平成 26 年度決算は、財産収入において、不用物品の売却のうち自動車が当初見込みを上回ったため収入増となった。なお、不用額は経費節減や入札により生じたものである。

今後も、各所属等において、適正な会計事務が遂行できるよう周知・指導に努め、引き続き、事務経費の経費節減に努める。

2 重点取組の実績

(1) 公金の安全確実かつ有利な管理運用

取組名	実 績
公金の適正な管理運用	・ 公金管理運用委員会を開催し、最新の金融情勢を鑑み、公金の安全確実かつ有利な管理運用を実施
公金の厳重な取扱いの徹底	・ 会計検査の実施（全所属を対象としたチェックシート方式による検査、 実地検査、コンビニ収納の検査） ・ 財務会計実践研修の実施
指定金融機関の選定	・ 公募を行い、指定金融機関選定委員会において公平公正に選定を実施

(2) 会計事務の適正な執行の確保と効率化

取組名	実 績
効率的かつ厳格な審査・支払の実施	・ 支出命令の効率的かつ厳格な審査・支払に向け、起案時の誤りを減らすべく、「金銭会計事務の手引」の改正や財務会計実践研修を実施
適正な会計事務の周知・指導	・ 会計検査の実施（全所属を対象としたチェックシート方式による検査、 実地検査、コンビニ収納の検査） ・ 財務会計実践研修の実施
物品センター耐震改修の推進	・ 物品センター耐震改修工事の実施設計

(単位:千円)

3 会計室所管の決算額

(1)一般会計

ア 歳入

款	予算現額 A	収入済額 B	翌年度繰越額 C	差引 A-B-C
国庫支出金	1,950	1,612	-	338
財産収入	19,250	28,637	-	△ 9,387
諸収入	5,500	4,892	-	608
計	26,700	35,141	-	△ 8,441

イ 歳出

款項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
総務費	44,400	37,203	-	7,197
総務管理費	38,400	32,313	-	6,087
総務施設整備費	6,000	4,890	-	1,110

4 会計室主要施策の概要

当初予算額の下段の括弧書きは、補正予算額、前年度繰越額、流用・移用等の予算の増減額、不用額の下段の括弧書きは、翌年度繰越額で、いずれも外数です。

項 目	主 要 施 策 の 概 要	当初予算額 (A) (増減額 (B))	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	不用額 (F=C-D-E) (翌年度繰越額 (E))
		千円	千円	千円	千円
	一般会計合計	44,400	44,400	37,203	7,197
(1 公金取扱手数料)		21,000	21,000	20,486	514
公 金 取 扱 手 数 料	収納手数料，郵便振替受払手数料など	21,000	21,000	20,486	514
(2 会計事務)		17,400	17,400	11,827	5,573
会 計 事 務	金銭，物品会計事務	17,400	17,400	11,827	5,573
(3 施設整備)		6,000	6,000	4,890	1,110
施 設 整 備	物品センター耐震改修工事実施設計 ＜新 規＞	6,000	6,000	4,890	1,110